

平成 28 年度 小平市 地域型地域ケア会議 実績報告 (4～6月)

	会議種別・担当包括	実施月	検討内容	参加機関	開催結果
1	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題 けやきの郷	5月	①住み慣れた町で自分らしく暮らすために、認知症になっても住み慣れた地域での生活を継続していくために地域で何ができるのか。 ②地域の現状と今後の取組みについて、地域の方々と認知症の方を支援する体制作り等の構築を目指し、開催する。	民生委員児童委員・自治会・地域包括けやきの郷	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい自治会長や包括職員等で顔合わせと地域の情報共有ができた。 ・民生委員児童委員と協同していきながら、認知症高齢者をはじめとする独居・高齢者のみ世帯等を支援を実施していく。 ・自治会同士の情報交換ができた。
2	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題 多摩済生ケアセンター	5月	現在の小平駅前相談所利用者の方から多く聞かれる、開所継続の声をどう形にしていくかと、居場所としてのあり方についての課題を検討する。	自治会長、商店会、駅前相談所ボランティア、民生委員、見守りボランティア、高齢者支援課、市民協働・男女参画推進課、多摩済生ケアセンター、中央センター	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会のようなものを立ち上げ、居場所としての方針や名称変更や費用負担等についての検討の必要性を確認。 ・相談所としての機能を果たすため、広報の継続、周知の方法について改善する。

3	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題 小川ホーム けやきの郷	6月	①高齢者が安心して生活できる地域づくりについて。 ②福祉のサービス事業所だけでなく地域の民間企業の方からも意見をもらい、地域の現状を把握し課題を明らかにする。	地域支援担当、小川公民館、津田公民館、上宿公民館、民生児童委員、東京都住宅供給公社、小平交通、鹿島開発、緑成会病院、小川ホーム、けやきの郷、中央センター	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、地域の民間企業、専門職、行政間の顔の見える関係が構築できた。 ・地域の課題発見と、民生委員や包括支援センターの情報が広まり、地域の見守りや気付きの声があがってくるようになったことの共有とその重要性を確認できた。 ・地域をつなぐ為に包括の役割の重要性を確認できた。
---	---	----	--	--	---

開催回数 4回（多圏域による合同開催1回、基幹型参加会議2回）

平成 28 年度 小平市 個別型地域ケア会議 実績報告 (4～6月)

	会議種別・担当包括	実施月	検討内容	参加機関	開催結果
1	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題 中央センター	5月	徘徊を繰り返す認知症高齢者（高齢夫婦のみ世帯）への支援方法と今後生活について ①認知症状の悪化。徘徊が多くなっていること。 ②同居の夫が本人の状況を理解していない様子があり、適切な支援を行えていない。 ③生活環境の改善の必要性。 ④今後の居所について検討	当事者家族、本人主治医、ケアマネジャー、通所介護事業所、訪問介護事業所、民生児童員、中央センター	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者は認知機能が低下しているなどにより、自分で判断できない人の安全を見極めて守る必要があることを確認。 ・現状のままでは、認知症の家族に対して適切な支援ができてないと判断しなくてはならないことを伝える。 ・利用サービスを追加し調整することを確認。
2	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題 小平健成苑	5月	自傷の恐れのある利用者の今後の対応についてと家族への支援について	家族、ケアマネジャー、医師会訪看、保健所、精神神経センター、ショートステイ事業所、国立精神神経センター看護師、高齢者支援課、中央センター、小平健成苑	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの提供により、家族の介護負担の軽減につなげる。 ・関係機関での見守りを連携を図る。 ・家族に対して、受診の進めと妻の不安の状況を汲み取っていく期間の必要性の確認。

3	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題 小川ホーム	6月	①心身状態の低下がみられる高齢者と精神疾患・アルコール依存症の子の共依存同居の支援を考える。 ②現在状況の確認と情報共有。 (昨年2月からの継続ケース)	保健所、障がい者支援担当、地域支援担当、権利擁護センター、NPO法人、小規模多機能、中央センター、小川ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のそれぞれの状況の情報共有。 ・今後想定される対応について、関係者で確認。
4	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題 小川ホーム	6月	認知症独居高齢者の支援について ①本人の意向、心身の状況、生活状況について ②関係者の見解と意見 ③今後の支援方針、具体的な支援内容の検討	司法書士、権利擁護センター、ケアマネジャー、通所介護事業所、小川ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意向と現状、各関係者の専門職としての意見を確認、情報共有ができた。 ・関係者で連携して支援していることを認識してもらい、治療を積極的に行う必要性があることを本人に伝えることができた。 ・本人の状況の変化に応じた対応と、継続した会議の必要性の認識。

開催回数 4回 (基幹型参加会議2回)